

平成20年度第2回「これからの図書館のあり方」検討小委員会 議事録

1 会 議 名

平成20年度第2回「これからの図書館のあり方」検討小委員会

2 議 題

(1) 図書館の配置のあり方について

(2) その他

3 開 催 日 時

平成20年8月19日(火)

14時00分～15時30分

4 開 催 場 所

北九州市立中央図書館内

視聴覚センター第2会議室

5 出席者氏名 委員(5名:敬称略)

会長 棚次 奎介(北九州市立大学基盤教育センター教授)

副会長 吉田 幸雄(北九州市学校図書館協議会会長)

服部多恵子(北九州市社会教育委員)

中村 尋子(北九州市保育所連盟常任委員)

高畠登美子(成人読書会「四季」副会長)

6 会議経過(発言内容要旨)

(1) 図書館の配置のあり方について

(会長)

今回のアンケートでは、図書館を利用している人だけでなく、市民向けアンケートを実施したことから、図書館を利用していない人の意識が浮かび上がっており、そうした意味で非常に明確なものになった。特に八幡西区と小倉南区で、図書館に行かない理由として「図書館が近くにない」という割合が他の行政区より高いということも含め、図書館を配置すべきだという市民の要望とも合致する結果になった。これは、利用者だけのアンケートでは、出てこない結果だと思う。その点はアンケートを実施して非常によかった。

(委員)

今回のアンケート結果を見せていただいて、図書館の配置に関しては、八幡西区と小倉南区に整備をしないといけないという方向性については、そのとおりだろうなという意識を強めた。

(会長)

図書館の配置のあり方をとりまとめるにあたり、地区館や分館の位置付けをどう考えるか。最終的には全ての住民が利用しやすい配置が一番望ましい。

また、行政区を単位に地区館を配置するという考え方がある。北九州市は5市合併した後に分区があって、小倉南区と八幡西区は地区館がないままになっているが、その辺の考え方は、今回、前面に出す必要はないということか。

(事務局)

今回の中間取りまとめでは、各区に1つという議論ではなく、現在の図書館配置が、例えば現在の人口分布や交通利便性などを考えて適切なのを見る必要がある。

旧市時代に、利便性等を考慮して決定した配置をすぐ一度に動かすのは財政上非常に厳しいので、当面は、八幡西区だから作るとか、小倉南区だから作るということではなくて、各区のニーズや利便性など、市民がどこの図書館を使い、どういう不便を来しているかを洗い出し、サービスの均衡などの視点から考えていく必要がある。

なお、分館と地区館は位置付けも役割も異なっており、特に地区館については拠点性や交通利便性も考慮する必要があるが、今回については、人口に見合ったところに、ある程度の規模のものを効率的に考えてはどうかということである。

(会長)

そういう観点から適正な配置を考えていくのは、ある程度妥当だと思う。区に必ず1つ置かないといけないのではなく、本当にニーズの高いところ、人口集積地や交通の利便性などに基づいて適正な配置を考えていくということが必要です。

(会長)

アンケートを見る限り、小倉南区については北九州市立大学の図書館の利用があまり多くないようだ。市民に開放された施設なのに利用率が上がってこないということは、今一度課題を整理して、オープンな図書館に変えていく必要がある。

(委員)

大学図書館というのは、専門図書ばかりというイメージもあるし、借りると学生さんに迷惑がかかると考えると、一般的に利用しにくい。

ところで、小学生の読解力が低下していると言われる中、調べ学習ができる場所は現段階では学校図書館しかない。関東では、「子ども館」として子どもの調べ学習に対応する独立施設をつくるほうがよいという動きがある。北九州市が子どもに関する施策をするなら、親子でゆったりできるような施設で、存分に調べ学習ができるような施設があるとよい。

(委員)

大学として、大学図書館の利用促進に向けた努力をしているのは理解できるが、主婦としては、なかなか気軽に大学図書館に寄るという気になれない。や

はり、公立図書館に力を入れて欲しい。小倉南区については、曾根分館ができて利用者も増えていると思うが、思い余って中央図書館まで車で行ったり、中央図書館に子どもをバスで行かせたりしているので、企救分館の駐車場の充実なども含め、何か手を打てないかという思いはある。

(会長)

図書館の配置のあり方を除く他の事項の検討については、今年度内を目途に取り組んでいきたい。

(会長)

中間とりまとめとして、現段階で、どこまで文章にして織り込むかというのはあるが、最終的な答申との兼ね合いも考慮して、原案はある程度簡潔にまとめることができていると思う。関連資料を読んでいくと、当然こうしたとりまとめになることは納得していただけたと思う。

ただし、文言や字句など細かい表現については、いくつか修正をお願いしたい点があるので、よろしく願います。

事務局： 北九州市教育委員会生涯学習課 TEL 093-582-2385
--